

# 応用計量経済分析 TA セッション 練習問題

## 第 6 回：標本分散の分布

TA：北村友宏\*

2015 年 11 月 17 日

教科書やノートなどを参照しても構いません。

1. 母集団から抽出した大きさ  $n$  の無作為標本  $(X_1, X_2, \dots, X_n)$  を考える。母平均  $\mu$  は 既知 で、 $\mu = 5$  であるとする。ただし、母分散  $\sigma^2$  は未知とする。

(a)  $s^2 = \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)^2 = \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - 5)^2$  とする。このとき、

$$E(s^2) \neq \sigma^2$$

となることを証明しなさい。

Hint：「(証明)  $E(s^2) =$ 」で始め、 $s^2$  の期待値を求める。このとき、総和記号の中にある 2 乗の部分を展開する必要はない。 $X_1$  から  $X_n$  までのそれぞれの分散 (の定義) を足し合わせた形に持っていく。

(b)  $s^2 = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)^2 = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (X_i - 5)^2$  とする。このとき、

$$E(s^2) = \sigma^2$$

となることを証明しなさい。

---

\* Email: [kitamu.tom@gmail.com](mailto:kitamu.tom@gmail.com) URL: <http://tomkitamura.html.xdomain.jp>

練習問題解答

1. (a) (証明)

$$\begin{aligned}
 E(s^2) &= E\left[\frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - 5)^2\right] \\
 &= \frac{1}{n-1} E\left[\sum_{i=1}^n (X_i - 5)^2\right] \\
 &= \frac{1}{n-1} E[(X_1 - 5)^2 + (X_2 - 5)^2 + \cdots + (X_n - 5)^2] \\
 &= \frac{1}{n-1} \left[ \underbrace{E(X_1 - 5)^2}_{=V(X_1)} + \underbrace{E(X_2 - 5)^2}_{=V(X_2)} + \cdots + \underbrace{E(X_n - 5)^2}_{=V(X_n)} \right] \\
 &= \frac{1}{n-1} [V(X_1) + V(X_2) + \cdots + V(X_n)].
 \end{aligned}$$

ここで、母分散は  $\sigma^2$  なので、 $V(X_1) = V(X_2) = \cdots = V(X_n) = \sigma^2$  である。よって、

$$\begin{aligned}
 \frac{1}{n-1} [V(X_1) + V(X_2) + \cdots + V(X_n)] &= \frac{1}{n-1} \left( \underbrace{\sigma^2 + \sigma^2 + \cdots + \sigma^2}_{n \text{ 個}} \right) \\
 &= \frac{1}{n-1} \cdot n\sigma^2.
 \end{aligned}$$

となる。したがって、 $E(s^2) \neq \sigma^2$  である。(証明終)

(b) (証明)

$$\begin{aligned}
 E(s^2) &= E\left[\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (X_i - 5)^2\right] \\
 &= \frac{1}{n} E\left[\sum_{i=1}^n (X_i - 5)^2\right] \\
 &= \frac{1}{n} E[(X_1 - 5)^2 + (X_2 - 5)^2 + \cdots + (X_n - 5)^2] \\
 &= \frac{1}{n} \left[ \underbrace{E(X_1 - 5)^2}_{=V(X_1)} + \underbrace{E(X_2 - 5)^2}_{=V(X_2)} + \cdots + \underbrace{E(X_n - 5)^2}_{=V(X_n)} \right] \\
 &= \frac{1}{n} [V(X_1) + V(X_2) + \cdots + V(X_n)] \\
 &= \frac{1}{n} \left( \underbrace{\sigma^2 + \sigma^2 + \cdots + \sigma^2}_{n \text{ 個}} \right) \\
 &= \frac{1}{n} \cdot n\sigma^2 \\
 &= \sigma^2. \quad (\text{証明終})
 \end{aligned}$$

- 実際にはあり得ないが、もし (母集団全体を観察できない場合に) 母平均  $\mu$  が既知であれば  $\mu$  を推定する必要はない。この場合、標本分散を  $s^2 = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)^2$  とすれば、 $E(s^2) = \sigma^2$  となる。